「新環境総合計画・環境に対するイメージ」に関するアンケート　リサーチプラン

1. 調査の背景と目的

　大阪府では、「大阪21世紀の新環境総合計画」を策定し、本計画に定めた各指標・目標値についての進捗状況等を把握している。今後の計画の見直しや持続可能な環境保全活動の実現につながる施策の検討にあたり、本調査結果を活用する。

1. 調査（検証）項目

(1)大阪21世紀の新環境総合計画の計画指標及び府民の環境配慮行動に係る項目のうち、下記項目の実態把握

1. 生物多様性を認知している府民の割合
2. 地域の環境保全活動への参加
3. 環境教育・環境学習活動（座学・体験型）への参加
4. 環境行動の働きかけ
5. 調査対象　国勢調査結果（平成27年）に基づいた、性・年代・居住地（４地域）の割合で割り付けた、18歳以上の大阪府民1,000サンプル
6. 質問項目

予備質問５問

ＳＣ1　性別

ＳＣ2　年齢

ＳＣ3　都道府県

ＳＣ4　居住地（市町村）

ＳＣ5　職業

本質問　15問

Ｑ1　「生物多様性」の認知度（ＳＡ）

Ｑ2　【Ｑ1見聞きしたことがある】認知の程度（ＳＡ）

Ｑ3　生物多様性に関することで知っているもの（ＭＡ）

Ｑ4　地域での環境保全のための取組みへの参加経験（ＳＡ）

Ｑ5　【Ｑ4ある】参加経験のある分野（ＭＡ）

Ｑ6　環境教育・環境学習活動（座学）への参加経験（ＳＡ）

Ｑ7　【Ｑ6ある】参加経験のある分野（ＭＡ）

Ｑ8　環境教育・環境学習活動（体験型）への参加経験（ＳＡ）

Ｑ9　【Ｑ8ある】参加経験のある分野（ＭＡ）

Ｑ10　環境に対してよいと思うことを伝えたり広めたりしたことがあるか（ＳＡ）

Ｑ11　インターネットによる情報提供への接触度（ＳＡ）

　　Ｑ12　パンフレット、チラシ等への接触度（ＳＡ）

　　Ｑ13　環境活動のための活動場所等の支援についての認知度（ＳＡ）

　　Ｑ14　環境問題に関するイベント実施や交流組織の活動支援などの認知度（ＳＡ）

　　Ｑ15　環境問題に関するキャンペーンの認知度（ＳＡ）